

番号	2-1-3	表題	水理模型を用いた合流改善対策用貯留管の水理現象及び圧縮空気塊に関する検証		
内容	<p>閉鎖性水域である勝島運河は、合流式下水道からの雨天時越流水などの影響により、水質悪化が問題となっている。このため、東京都下水道局は合流式下水道の改善を行う重点水域のひとつとして位置付け、降雨初期の特に汚れた下水のうち、流域内降雨 6 mm 分を貯留する合流改善施設（φ2200 の貯留管）を現在施工中である。</p> <p>本施設の問題点として圧縮空気塊の噴出等が想定されるが、空気抜きや取水構造が及ぼす複雑な水理挙動は、机上の検討では十分に把握できない。このため、水理模型実験による検証を行った。本稿では、実験により明らかになった課題と、対策の検証結果を報告する。</p>				
キーワード	合流改善、貯留管、圧縮空気塊、水理模型実験				
処理区名	森ヶ崎処理区	位置区分	管きよ		
職種区分	土木	施策区分	合流改善		
状態区分	設計	新規性			
実施年度	平成 25 年度～26 年度	全体期間	平成 25 年度～26 年度		
担当部署	南部下水道事務所 建設課 建設工事係 遠藤 光				
発表履歴	局内	平成 26 年度 設計・工事事例発表会			
	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会			
調査方法	委託調査				
関連情報					